

平成 23 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 正司 哲朗

最終学歴	龍谷大学大学院理工学研究科電子情報学専攻博士課程後期	
取得学位	博士（工学）	
所属学会	電子情報通信学会、情報処理学会、地理情報システム学会、教育システム情報学会、日本教育工学会、バーチャルリアリティ学会	
専門分野	情報メディア、教育工学、デジタルアーカイブ	
研究課題	教育分野や考古学分野におけるデジタルアーカイブに関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報学入門(前期)</li> <li>・情報基礎理論I (前期)</li> <li>・マルチメディア論 (前期)</li> <li>・ネットワーク基礎論 (前期)</li> <li>・情報ネットワーク論II (後期)</li> <li>・情報処理II (後期)</li> <li>・情報学演習I～IV (前期・後期)</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	<p>(1) 奈良大学総合研究所特別研究「モンゴル遼代城郭都市の構造と環境変動」、研究分担者</p> <p>(2) 奈良大学研究助成, 「Webレスポンスシステムを用いた双方向コミュニケーションの実現」、研究代表</p> <p>(3) 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 「文化遺産の3次元計測法の効率化」、研究分担者</p>	
【教育上の特記事項】	<p>(1) 奈良大学における情報教育基盤の整備として、e-learningシステムの構築と運営</p> <p>(2) 高大連携の活動の一環として、奈良大学附属高校の2年生を対象に「情報学シリーズ(6回)」の講義を行い、附属高校の情報教育の向上と、社会調査学科の説明を実施</p> <p>(3) 学科の新しい教育支援プログラムの立ち上げと運営</p> <p>(4) 奈良大学VRシアターの運営</p>	
【社会的活動】	<p>(1) 情報処理センター公開講座「パソコン入門講座」講師</p> <p>(2) 奈良大学モンゴル遺跡調査研究後援会</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<p>学科予算委員、ネットワーク委員、博物館委員、社会学部実習室管理委員、情報処理運営委員など</p>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
①擬人化エージェントとの音声対話時におけるユーザの非言語動作からの難/易及び興味/退屈の推定	共著	2012年1月	電子情報通信学会	ユーザ-擬人化エージェント間の音声対話場面を対象に、ユーザが対話内容に対し難しいと感じていたか否か、興味をもっていたか否かを、そのユーザの非言語動作（視線、表情、姿勢、手振り）から推定する処理を実現 (p. 85-96掲載)
②顔画像認識を利用した学習履歴提示システムの構築	単著	2012年3月	奈良大学総合研究所	e-learningシステムなどで学習したコンテキスト、およびレポート点や出席点などを可視化し、顔認識を利用して受講者にフィードバックするシステムを構築し、教育効果を検証した。 (p. 19-29掲載)
(学会発表)				
①携帯端末を利用したAR技術に基づく消費電力の可視化	共著	2012年3月	電子情報通信学会	消費電力を計測し、携帯端末とAR技術を利用して、利用者に提示することで、節電効果があるかどうかを検討した。 (情報システム講演論文集2 p. 11)
②講義映像と講義ノートを利用した復習用教育教材システムの構築	共著	2012年3月	教育システム情報学会	講師の映像、板書、スライド、および学生の講義ノートを同時に表示できる復習用教育教材を作成できるシステムを構築し、教育効果を検証した。 (p. 33-38掲載)
(その他)				
①チントルゴイ城址の研究 2009-2011	共著	2012年3月	奈良大学総合研究所	モンゴル国に所在するチン・トルゴイ城跡の発掘調査を実施し、出土した遺物や建築材を3次元計測するとともに、簡易に遺跡上空からの画像を獲得するシステムを検証した。